

10

暮らしを支える建築のしくみ

普段何気なく利用している建物は、どのような仕組みによって私たちの暮らしを守っているのでしょうか。建築には、美しいデザインだけでなく、地震や災害に耐える構造技術、快適な環境をつくる技術、そして建物を長く使い続けるための工夫が詰まっています。本講座では、身近な建築を支える技術のしくみを紹介するとともに、安全で持続可能な未来の暮らしを支える建築の役割について解説します。

会 場	対 面 : 広島大学東広島キャンパス 工学部B2棟 107講義室 オンライン : -
時 間	10:00~16:50
定 員	対 面 : 120 名 オンライン : - 名
対 象	どなたでも
受講料	無料
申込方法	郵送・Web
申込期限	一次申込締切 : 10/5 (月) ※ 定員に達しなければ 11/25 (水) (必着) まで先着順で受付

見えない足元に潜むリスク：地震に強い地盤・弱い地盤の真実

講 師 : 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 三浦 弘之

第1回

12/5 (土)

10:00~10:50

様々な災害における地盤のリスク（地震時の揺れやすさ、液状化危険度、土砂災害危険度）を解説し、ハザードマップの読み解き方、危険な地盤の見抜き方、などを紹介します。

大きな地震でも揺れにくい建物の構造

講 師 : 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
准教授 陳 星辰

第2回

12/5 (土)

11:00~11:50

免震・制振構造の基本を解説するとともに、中四国地域の代表的な建築物を具体例として取り上げます。

木造建築のしくみとその可能性

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 森 拓郎

第3回

12/5 (土)

13:00~13:50

住宅を対象とした木造建築の耐震（地震に対する抵抗）性能に関する実験的な試みと、現在の大規模木造に関する取り組みとその可能性について紹介します。

環境の力を活かす建築のしくみ

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 金田一 清香

第4回

12/5 (土)

14:00~14:50

地域固有の環境の力を活かした建築の事例を紹介し、地中熱や放射空調など、快適な暮らしを支えるエコ技術をわかりやすく解説します。

デジタルで探る、都市と建築の「見えないしくみ」

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
教授 田中 貴宏

第5回

12/5 (土)

15:00~15:50

近年、経験や勘だけに頼るのではなく、科学的理解に基づいて都市や建築をデザインする「Evidence-based Design」が注目されていますが、そのためには、都市や建築の「見えないしくみ」の理解が欠かせません。この回は、その最前線の取り組みをいくつか紹介します。

住まい・空間ができる世界の仕組み

講 師： 大学院先進理工系科学研究科建築学プログラム
准教授 角倉 英明

第6回

12/5 (土)

16:00~16:50

日本の住宅は、他の先進国と比較すると実に特殊な道を歩んでいます。ここでは、わが国の住宅ができる世界の仕組みとその変化について解説し、近い将来により良い住空間を手にするために皆さんにできることを紹介します。

講座内容に関する
お問い合わせ先

工学系総括支援室 学士課程担当

電 話： 082-424-7515

メー ル： kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp